



通信



■ NSTとは？

NSTとはNutrition Support Team(栄養サポートチーム)の頭文字をとった略称です。医師・歯科医師・管理栄養士・薬剤師・看護師・歯科衛生士・理学療法士・言語聴覚士など、医療に携わる様々なスタッフが、職種間の垣根を越えて、それぞれの専門的な知識・技術を活かしながら共同で患者様の栄養状態をチェックし、きめ細かいケアを行うチームの事です。当院のNSTチームは医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士と病棟リンクナースで活動しています。NST研修修了者が医師2名、歯科医師1名、看護師3名、薬剤師3名と少しずつ増えています。

■ NST加算とは



NST加算は患者の生活の質の向上、原疾患の治癒促進及び感染症等の合併症予防等を目的として、NSTチームが介入した場合に算定できる加算です。栄養サポート加算200点(週1回) 歯科連携加算50点です。

対象患者

- ALB3.0g/dl以下であって栄養障害を有すると判定された患者
- 経口摂取又は経腸栄養への移行を目的として静脈栄養を実施している患者
- 経口摂取への移行を目的として経腸栄養を実施している患者
- 栄養サポートチームが、栄養治療により改善が見込めると判断した患者

包括払い入院料の病棟では加算が取れず、当院ではNICU病棟と療養2F病棟のみ算定できます。しかし栄養を改善させることは治療成果をあげるといふエビデンスもあり、患者様のためになるので、算定できない病棟でも介入しています。

■ NSTの活動内容

毎週木曜日にカンファレンス、病棟回診をしています。

管理栄養士と歯科衛生士による食事訪問で摂取状況を確認したり、最近では嚥下造影検査や喉頭マイクによる嚥下評価もできるようになりました。

低栄養を改善させたい、経口摂取や経腸栄養をはじめたい、嚥下状態を評価したいなど栄養改善に関することについて多職種の様々な視点からアドバイスできますのでご依頼お待ちしております。



■ NST実績はどのくらい？

NSTの過去3年間の実績をまとめました。今年度は今までで最高数にいく予定です。算定率についても目標30%に近づけるように頑張りたいです。栄養状態を良くすることで感染症等の合併の予防や早期回復につながります。



11月からは褥瘡委員会ともコラボするよ

嚥下造影検査(VF)始めました

videofluoroscopic examination of swallowing, VF

嚥下障害を詳しく調べるための検査として、嚥下造影検査(VF)ができるようになりました。この検査は、透視装置を用い、バリウム(造影剤)を混ぜた食品を食べたり飲んだりしてその様子を撮影するものです。VFにより、外からは見えにくかった咽頭や喉頭の動き、食物や水の流れが確認できます。誤嚥やそのリスクが評価できるだけでなく、飲み込めない原因や、どうすればうまく飲み込めるのかを知る手がかりになります。

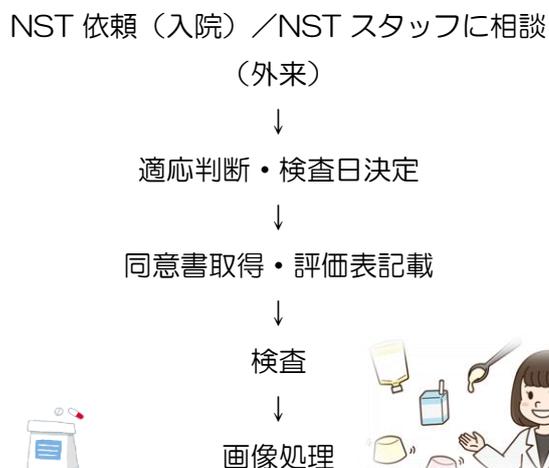
2023年10月13日に第1例目の検査に成功しました。検査は、内科医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士、放射線技師が同席で行いました。

VFの適応となるのは、車椅子座位が可能な方、全身状態が安定している方です。検査日時は現時点では決まっておらず、主治医や病棟スタッフと相談の上、随時実施していく予定です。まずはお気軽にNSTスタッフに相談して下さい。スタッフ一同協力し、徐々にスムーズに運用できるようにして行きます。



VFを開始するにあたり、他院STにオブザーバーとしてカンファレンスに参加していただき、国立精神神経研究センター病院の山本敏之先生に見学をさせていただき、その他、e-learning受講、Webカンファレンス参加など行い勉強してきました。放射線科には現在の装置で撮像・画像処理が可能な模擬検査も含め、何度もご協力いただきました。ご指導・ご協力いただいた方々に大変感謝しております。

＜嚥下造影の具体的な流れ＞



診療報酬項目 点数 (点)

透視診断	110
デジタル撮影	154
嚥下造影	240
合計	504

NSTのロゴマークです

NST通信発行することになりました。季刊で発行していきたいと思っています。皆さんぜひ読んでくださいね。

そして⇒はNSTのロゴマークです。

ビタミンカラーで元気の

出るように作りました

(デイケア奥井Ns作)

